

ニュースダイジェスト

■マイクロソフトの LCS2003、複数拠点間テレビ会議に対応、マクニカ、日本 HP と共同展開

マイクロソフト(東京都渋谷区)の「Microsoft Office Live Communications Server 2003」がサードパーティのソリューションによって複数拠点間のテレビ会議に対応したことを同社が発表した。

サードパーティのソリューションとは、ラドビジョンの IM-First。IM-First をモジュールとして追加することにより、Microsoft Office Live Communications Server 2003 とラドビジョン社製の多地点接続装置(MCU)が連動することができるようになる。その結果ラドビジョン MCU の多地点機能によって複数拠点間のテレビ会議が可能になる。

Live Communications Server 2003 は、クライアントとして Windows Messenger を使うことにより、高価な専用会議室は不要、自席やモバイル環境から会議参加を可能とする。また、SIP や H.323 に対応しているため、既存のテレビ会議システムなどとの通信も行える。さらに、PowerPoint 資料を共有しながらのプレゼンテーション、ホワイトボード共有機能なども搭載している。

Live Communications Server 2003 のテレビ会議ソリューションは、日本では3社協業体制で展開する。システム構築と営業活動を日本ヒューレット・パカード(東京都品川区)、技術サポートをラドビジョンの日本での販売会社のひとつであるマクニカネットワークス(神奈川県横浜市)、マーケティング活動をマイクロソフトが担当。

■ポリコムとマイクロソフト、コラボレーションソリューションで提携

米マイクロソフトと米ポリコムは、ビジネス向けコラボレーションソリューションのマーケティング活動とソリューション開発を共同に行うことで複数年の提携契約を行ったと発表。

今回の提携は、Microsoft Office Live Communications Server とポリコムの会議システム製品などが同じ環境で会議が行えるソリューションの開発が目的。2社提携の第一弾の

成果物としては、Windows Messenger のプレゼンス機能とインスタントメッセージ機能と、ポリコムのテレビ会議システム(Viewstation EX、FX、VSX)、電話会議システム(SoundPoint、SoundStation IP)、MGC 多地点接続装置、WebOffice カンファレンスポータルなどとの連動させることを検討している。そのソリューションは 2004 年度終わり頃のリリースを予定している。

また、第二弾としては、Microsoft Office Live Meeting の音声とテレビ会議機能の面に関連したソリューションに展開する内容と思われる。

■So-net ステレオ通話が可能な So-net フォン P' を 12 月開始

ソニーコミュニケーションネットワーク(サービス名称:So-net)は、現在提供中であるIP電話サービス「So-net フォン」の新サービスとしてステレオ通話が可能な「So-net フォン P'」を、今年 12 月を目途に提供開始する。

「So-net フォン P'」は、パソコンでインターネットのウェブサイトを閲覧中に、高音質のステレオ電話やテレビ電話、4者同時で会話ができるテレビ電話、チャット、同じウェブページや写真、動画を共有、BGMを聞きながらの通話、効果音(サウンドエフェクト)を鳴らして通話を演出するなど高機能なコミュニケーションサービスを提供する。ステレオ電話は、ソニーの通信用高音質音声圧縮技術を採用している。「So-net フォン P'」を使用するためには専用のソフトウェアが必要。

1フォンIDあたり月額利用料金は、税抜きで 280 円。音声通話サービスの通話料は、So-net フォンと同一料金(例:国内 3 分 8 円)だが、高機能コミュニケーションサービスについては無料。

IP 電話サービスは、ADSL や光サービスを利用しているユーザーが対象で、パソコンについては、Windows2000(SP4)かXP(SP1)でペンティアム III850Mhz 以上が推奨。テレビ電話時は USB カメラを使用。

モニターサービスを 9 月 6 日から 1000 名募集したが、9 月 15 日現在受付は終了している。好評のため追加募集を行うようだ。

■NTT 西日本、Bフレッツを使ったオールインワンTV会議パッケージ提供開始

NTT 西日本(大阪府大阪市)は、企業や自治体向けに、Bフレッツ回線、ソフトウェア、機器の提供、設計、工事、保守までをオールインワンでパッケージ化した「TV会議パッケージ」を9月9日から提供開始した。「TV会議パッケージ」は、“最適トータルネットワークソリューション”「N.prosol(エヌプロソル)」の新しいラインアップとして提供する。

「TV会議パッケージ」は、使用用途に応じてPCタイプとASPタイプのメニューを用意している。

PCタイプは、企業や自治体にテレビ会議用のサーバーを設置し、現在使用しているPCに専用のソフトウェアをインストールすることにより多地点間のテレビ会議が行える。同時に最大100クライアントのアクセスが可能。資料共有、ホワイトボード、チャット、メッセージャーなどの機能が利用できる。初期費用は、消費税込みで65万円から。専用ソフトウェアと機器(サーバー、カメラ、ヘッドセット)、工事費を含む。月々の費用は回線使用料のみ。

ASPタイプのものは、NTT側で準備するサーバーを使って提供するサービスで、NTT レゾナント(東京都千代田区)開発、NTT スマートコネク(大阪市北区)が西日本エリアで提供している「WarpVision」を利用することでテレビ会議サービスを提供する。WarpVisionは、NTT 研究所が開発したMPEG2リアルタイムソフトウェアコーデック構成技術を使用し、テレビ画像なみの映像伝送を実現するテレビ会議サービス。5拠点まで同時接続が可能。

ASPタイプの初期費用は、端末あたり6万円からで、端末およびカメラ、マイクなどの周辺機器の設定費、接続試験を含んだ概算費用。別途ASPサービスの工事費(1ID当たり消費税込みで15,750円。)がかかる。月額費用は、ASPサービス利用料として、基本料が1ID当たり15,750円(消費税込み)と1契約あたり7,875円～(消費税込み)が別途必要。

■ノーテルネットワークス、マルチメディアコミュニケーションサーバー5100をリリース

ノーテルネットワークス(東京都品川区)は、SIPやH.323に対応したマルチメディアコミュニケーションサーバー5100(MCS5100)を9月中旬に販売開始する。デスクトップPC、ノートPC、携帯電話、一般電話、PDAなどさまざまな端末か

らのアクセスが可能で従来の音声通話に加えマルチメディア機能を提供する。ホワイトボード機能、ウェブページ(下へ)

-----<AD>-----



ここまで出来る！今注目の
ビジネス向け Web 会議
(CUSeeMe の進化版)

ファーストバーチャルコミュニケーションズ株式会社

<http://www.fvc.com>



アエスラ(Aethra Italy)
電話会議・テレビ会議
世界第4位のテレビ会議
メーカー

<http://cnar.jp/aethra>



<広告>イスラエル VCON のテレビ会議製品情報(日本語): 日本地方自治体等導入実績あり、PCタイプのテレビ会議システムからセットトップタイプのものからMXMメディアエクスチェンジャー、MCU、ストリーミング、開発ツールキットなど幅広いニーズに対応。テレビ会議メーカー、大手5社に入る。

H.323対応 PC用会議システム vPoint

VCON <http://www.vcon.com>

-----<AD>-----



株式会社シード・プランニング

IP電話の最新市場動向
マーケティングレポート

<https://www.seedplanning.co.jp>

-----<AD>-----

共有などのウェブ会議機能、ユーザーの状況表示を設定できるプレゼンス機能、ファイル送信、モビリティ機能、パスワードによるセキュリティ機能を持たせた Meet-me 電話会議、さらに、既存のPBXとの統合も可能で既存の社内資産を有効活用できる。価格は、100ユーザー構成で1,219万円。99.999%の信頼性を考慮した設計で、高いサービス品質を提供。アダ

ムネット(東京都千代田区)、沖テレコム(東京都品川区)、トーマンテレコム(東京都千代田区)で販売する。

【編集長 橋本のコメント】

MCS5100 は、ポリコムが最近発表したバージョン 7.0 でサポートされておりポリコム製品との接続連動が可能(CNA リポート・ジャパン Vol.6 No.11 2004 年7月 15 日号)。それに対して、シスコは、VT Advantage により今年から IP テレビ会議を強化、加えて米 Latitude 社を買収することによりウェブ会議機能の強化を図っている。そして Avaya も Spectel 社を買収しウェブ会議系の強化を進めている。こうした動きから今後のノーテルネットワークスの対応が注目される。

(MCS5100 とバージョン 7.0 関係:CNA リポート・ジャパン Vol.6 No.11 2004 年7月 15 日号)、(VT Advantage 関係: Vol.6 No.11 2004 年7月 15 日号、Vol.6 No.6 2004 年 3 月 31 日号、Vol.5 No.21 2004 年 12 月 15 日号)、(Latitude 買収関係: Vol.6 No.1 2004 年1月 15 日号)、(Spectel 買収関係: Vol.6 No.13 2004 年 8 月 15 日号)

■NTT マーケティングアクト中国、ウェブ会議サービスを 6 月から開始

NTT マーケティングアクト中国(広島市中区)は、PC で簡単に遠隔テレビ会議が行えるウェブテレビ会議サービス「レッツ・ミーティング」を今年 6 月 10 日より開始した。

「レッツ・ミーティング」は、専用のソフトウェアやハードウェアを必要とせず Windows や MacOS 搭載のパソコンに PC カメラとヘッドセットを接続、「レッツ・ミーティング」専用のホームページにアクセスするだけで PC テレビ会議が行える ASP サービス。1 つの会議室に最大 10 拠点までの多地点テレビ会議を行え、ファイアウォール内の企業 LAN 上の PC からでもそのまま接続が可能。

機能としては、回線速度を自動チェックし最適な帯域を設定、ファイアウォール上の空きポート、プロキシサーバの設定を自動的に検出、映像を差分圧縮でデータ送信しているため、低帯域でも映像の質が高い通信が行える。また、その他の機能としては、会議中の映像を保存する録画機能、文書共有が行える共有ホワイトボード機能、テキストチャット機能、無償自動バージョンアップ機能、「レッツ・ミーティング」の ID を持っていない人をゲスト参加者として会議に招待

することが可能な会議招待機能などがある。

費用的には、初期費用は無料だが、月額基本料金として 1 ID 毎に 2,100 円(消費税込み)、利用料 1 分間毎/1ID が 15.75 円。ただし、毎月 120 分までの利用料は無料。

NTT マーケティングアクト中国としては、本年度全国での販売目標を 5 万 ID と設定している。

「レッツ・ミーティング」は、エコス(東京都渋谷区)とブイキューブブロードコミュニケーション(東京都目黒区)から技術供与を受けて NTT マーケティングアクト中国が独自のサービスとして商品化したもの。エコスが顧客管理、課金請求システム、ASP 運用関連技術、ブイキューブがストリーミング、サーバー連携関連の技術を提供した。NTT マーケティングアクト中国はブロードバンドの利用促進に向けた新たな付加価値サービスと位置づける。

■Scotty 軍事向け Mobile Secure Link を発表

オーストリアの Scotty 社は、軍事向け SCOTTY Mobile の周辺装置として“Mobile Secure Link”(MSL)を発表。MSL は、SCOTTY Mobile と連動して暗号化されたテレビ会議通信が行える。KIV-7HS や OMNIXI 暗号化技術装置、ADTRAN 2x64 ターミナルアダプター、64kbps-128kbps 用の Inmarsat GAN ターミナルなどの装填に対応したプラグ&プレイの機能ベイを持つ。また、プライバシーのため外部配線を減らし装置の準備時間の短縮が可能になった。コンバット作戦時などでの通信の信頼性や迅速な装置準備などのニーズに対応する。



SCOTTY Mobile Secure Link



SCOTTY APL-B(衛星、暗号化通信が可能)

APL-Bは、テレビ会議、電話会議、データ会議機能とともに、スキャナー、プリンター、FAX モジュール、インマルサット衛星通信などを持つ。

■ラドビジョン社、中国のテレビ会議 SI 社 VisionNex 社を買収、中国ビジネス強化

ラドビジョン社は、中国の VisionNex 社(北京)を買収。VisionNex 社は、テレビ会議向けの“VisionNex Communication Server (VCS)”と“VideoPBX”を開発販売しており、ラドビジョン社の iView VCS テレビ会議スケジューリング機能は、ラドビジョン社と VisionNex 社との共同で開発し、VisionNex 社の技術が生かされている。

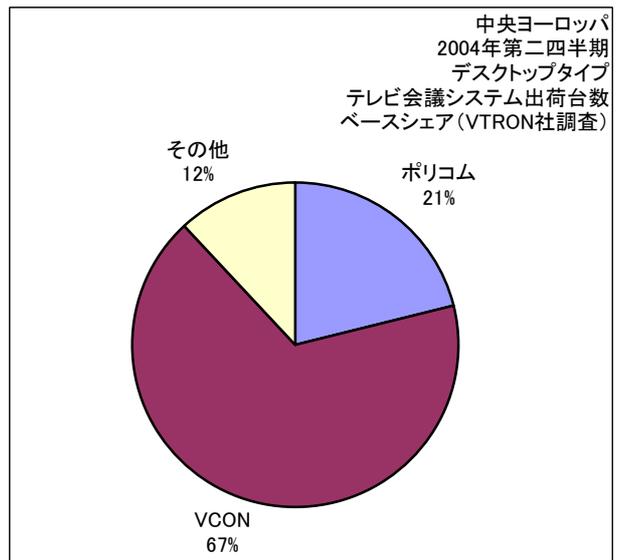
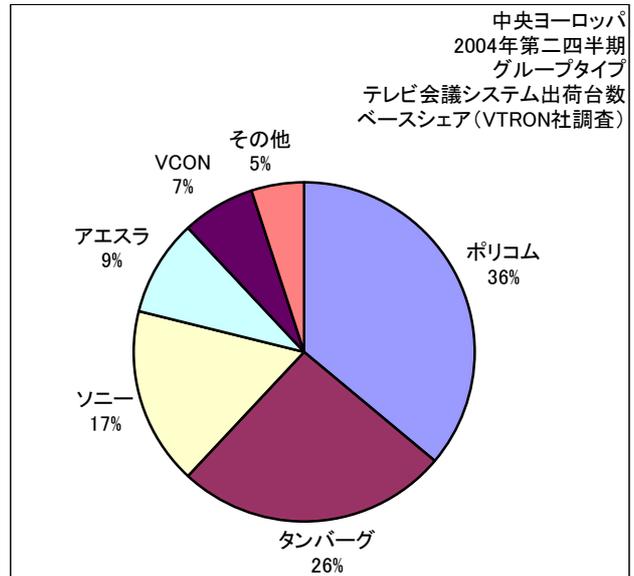
今までの iView VCS などの緊密な関係と中国市場重視から今回の買収となったようだ。これにともない VisionNex 社の社員がラドビジョン社へ転籍、ラドビジョンにとってはプログラミングチームを中国に持つことになるとともに、中国ビジネスの中心となる拠点になる。

中国ビジネスが加速することになる。VisionNex 社は、ポリコム、Huawei、TZE、GlowPoint などとパートナーシップを組んでいる。社長の Kai Li 氏はシリコンバレーでの経験が豊富で、VisionNex 社の前は米国内の Lupine Technology などで e-ビジネス関係でのコンサルティングや製品開発などで実績を持つ。

■ 中央ヨーロッパ市場リポートー独VTRON社

独 VTRON 社は、第二四半期ドイツ、オーストリア、スイスのテレビ会議システム市場(ルームタイプ、セフトップ、PCタイプ)の結果を同社が発行する、“Videoconferencing In

Europe”にてリポートした。



第二四半期では、前四半期に比べ4%増であった。ルームタイプ等テレビ会議システムでは、前四半期と比べポリコムが36%とかわらないが市場をリードしており、その後をタンバークが24%から26%へ、またアエスラが6%から9%へ、VCONも6%から7%へシェアを上げたが、ソニーは、市場第3位とはいえ、前四半期の23%から17%へとシェアを下げた。結果的にはタンバーク、アエスラ、VCON がソニーからシェアを取ったという形になったが、タンバーク、アエスラについては、プロジェクトタイプのオーダーがいくつか入ったようでそれがシェアを上げた。

デスクトップ市場については、前四半期は、ポリコムが43%

でリードしたが、この第二四半期では大口のプロジェクト受注が入ったため、VCON が、67%の市場を押さえた。VTRON 社の Ant Bilsev 氏によると、市場の規模等の理由から大型プロジェクトに市場シェアが左右される性格があるようだ。VCON は、2003年度は一貫してポリコムをリードしていたが、昨年の第四四半期(10月—12月期)で勢いを付け、今年に入り第一四半期でポリコムが一時逆転したが VCON が第二四半期で返り咲いた形だ。



VTRON GmbH <http://www.vtron.de>
Ant Bilsev info@vtron.de

ショートニュース

◆米調査会社の TeleSpan Publishing 発表のプレスリリースによると、2004 年の会議市場は、会議サービス需要が増大したため 37 億 USD に達し、その後も需要は引き続き伸び続け 2005 年には、40 億 USD と予想する。電話会議市場が全体の 6 割を占めるが、ウェブ会議市場の最近の伸びは非常に大きいと分析。



TeleSpan Publishing <http://www.telespan.com>

◆米 NASDAQ に上場しているポリコム、WebEx、レインダンスは、それぞれ自社株買いについて発表し、ポリコムは 1000 万 USD、WebEx は 4000 万 USD、レインダンスは 500 万 USD までの買い戻しを予定している。

◆NTT-IT(神奈川県横浜市)は、同社が提供するPC向けウェブ会議システム「MeetingPlaza 電網会議システム」にアラビア語版を追加した。MeetingPlaza は現在日本語、中国語、英語に対応しているが、カナダ IESI 社と共同でアラビア語版を開発した。本製品の日本での販売は NTT-IT が行うが、カナダ、アラビア語圏では、IESI 社がサポートを含め担当する。製品マニュアル、ヘルプ、会議予約システム、会議開催メール、アドホックログインなどをアラビア語で表示している。販売は、9 月 1 日から。MeetingPlaza は 600 社以上が導入しているシステム。(CNAリポート・ジャパン Vol.6 No.7 2004 年 4 月 15 日号)

◆イー・カムトゥルー(北海道札幌市)は、9 月 1 日よりPCベースのインターネットテレビ会議ASPサービスの提供を開始した。料金は10アカウントで月額6万円(月に50時間まで使い放題)。

◆マイクロソフト(東京都渋谷区)は、11 月 25 日から同社のゲーム機 Xbox でテレビ電話が行える Xbox ビデオチャットキットを発売する。Xbox Live の機能を活用し Xbox に専用カメラを接続、簡単な操作で Xbox 間でのビデオチャットが楽しめる。キットには、Xbox ビデオチャット、Xbox ビデオチャット専用カメラ「Xbox Cam (Xbox カム)、Xbox ビデオチャットディスク、Xbox Live12 ヶ月基本サービス利用料、Xbox ボイスコミュニケーションータ、Xbox Live スタータキットディスクが含まれる。価格は税抜き6,800 円。また、Xbox Live ユーザー向けに選考モニターキットを限定 3000 個発売する。9 月 24 日から 10 月 11 日まで予約受付を行い 11 月 12 日より順次発送する。

◆インターネットサービス@nifty(アット・ニフティ)を提供するニフティ(東京都品川区)は、NTT東西会社が販売するIPテレビ電話端末「VP1000」(CNA リポート・ジャパン Vol.6 No.12 2003 年 7 月 31 日号)対応の IP テレビ電話サービス「@nifty ビデオフォン-F」の提供を 9 月 1 日から開始。@nifty の「B フレッツコース」および「B フレッツスペシャルコース」の利用者が対象となる。2004 年 11 月末まで月額基本料および一部通話料を無料とするキャンペーンを実施。月額基本料 300 円(税抜き)、IP 電話通話料金 8 円/3 分(税抜き)。

◆ソニーマーケティング(東京都港区)は、同社テレビ会議システムの PCS-1、PCS-11 向けのバージョンアップソフトウェア V.2.43 をリリースした。主な追加機能は、(1)エコーキャンセラー機能の改善、(2)ISDN での MPEG4AAC の対応、(3)使用ポート番号の変更、(4)ヨーロッパ言語追加対応などを含む。

◆音声会議およびウェブ会議サービスを提供するプレミアコンファレンシング社(東京都江東区)の親会社である米 Ptek ホールディング社が、米バージニア州の音声データ会議サービスを提供する Connect-us 社を 890 万 USD で買収。Connect-us 社は年間 600 万 USD の売上を持ち Ptek 社の連結決算に組み込まれる。Ptek 社は、Connect-us 社によって中小企業向けの会議サービスの強化を目指しているようで、会議サービス会社買収としては今年 7 月に発表された Ptek 社のクリア社カンファレンス部門の買収に続く今年 2 回目となる。

◆イタリアのテレビ会議・電話会議メーカー、アエスラ社がアジア太平洋地区においてイギリスの多地点接続装置メーカーCodian社と提携したことを発表した。Codian社は、2003年1月に設立されたベンチャー会社で、同社CEOのMark Richer氏など経営陣はもとVoIP関連製品などのCalista社の創業者で、Calista社は1999年にシスコに買収された。Codian社製造部門とR&D部門はイギリスに在する。

◆米音声会議多地点接続装置などを開発するコンピューネティクス社がインドのムンバイにインド事務所を今年の7月に開設した。今回の開設にあわせてJerry Bindra氏がインドカントリーマネージャーに着任。インドでは2003年から2004年にかけて電話回線の敷設数が40%増加し、電話会議市場は、今後5年間で急速に伸びると見られている。Jerry Bindra氏は、IT、テレコム関係などの販売、アカウントマネージメント、マーケティング、事業開発などの経験を持つ。インド以外にもインドネシア、オーストラリアなどでの国際経験もある。コンピューネティクス社に入社する前は、SDI Technologies社に在籍していた。アジア太平洋地区事業開発担当ディレクターのDon Kordick氏がアジア全体を統括する。(CNAレポート・ジャパン Vol.5 No.2 2003年1月31日号 同氏インタビュー)

◆音声会議、テレビ会議、ウェブ会議サービスなどを提供する米World Class Conferencing社は、コンピューネティクス社のCONTEXカンファレンシングシステムの導入を決定した。

◆イスラエルのラドビジョン社は、Amos Talmor氏が同社のコーポレートセールス&マーケティング担当副社長に着任したと発表した。同氏は、南北アメリカ、欧州、中東、アフリカ、アジア地区全体の販売を統括する。前職はECI Telecom社でグローバルセールス統括を担当していた。ラドビジョン社は、中国を中心に今後アジアでのIPコミュニケーションの伸びに期待をするが、Amos Talmor氏は、アジア太平洋地区での経験が豊富。

◆ファースト・バーチャル・コミュニケーションズ(FVC)のワールドワイド事業開発&戦略的アライアンス担当副社長にThomas Neubert氏が着任した。同氏は、PC向けウェブ会議ソリューションを販売する米Santa Cruz Networks社でアライアンスなどパートナーシップを通じた事業開発を担当してきた。Thomas Neubert氏の直属の上司は、マーケティン

グ&事業開発担当副社長Duncan Campbell氏。

◆会議サービスを提供する米ACT Teleconferencing社は、CFOと販売担当副社長に、Edward Bernica氏、Paul Pearson氏がそれぞれ着任したと発表した。Edward Bernica氏の前職は、Energy West社でCEO兼CFO職、また、Paul Pearson氏は、McDonnell Douglas社、MCI、American Express社などで管理職を経験しており販売と事業開発に27年の経験を持つ。また、同社生え抜きの社員Ken Knopp氏は、US事業部の事業部長へ昇格した。ACTは、現在今年初め頃から始めた事業のリストラクチャリングを実施中で、コスト圧縮、事業プロセスなどの合理化そして、全体的な収益の改善を図っている。

◆米ACT Teleconferencing社財務基盤の強化の一環として私募(Private Placement)発行による増資を行い普通株812,700株1.10USDで発行。複数の特定機関投資家が引き受けた。引受額は、89万4000USD(約9800万円)。

◆Ezenia!に、連邦州政府システム担当副社長兼ジェネラルマネージャーにHarry B. Heisler氏が着任し、Ezenia!経営陣の強化を図る。現在Ezenia!の主な収益は、連邦政府の諜報機関や米軍へ同社のInfoWorkSpace製品やサービスの販売による売上となっている。米国土防衛省などの今後のビジネス展開に期待を寄せるが、Harry B. Heisler氏は、政府関係での20年間の販売、マーケティング、事業開発、コンサルティングサービスなどの経験を持つ。Ezenia!は、元VideoServer社の名前で知られ業界トップの多地点接続装置メーカーであった。

◆無料の電話会議サービスを提供する米FreeConference.com社は、同社の有料電話会議サービス(Premium800)向けに会議録音サービスを開始する。Mp3フォーマットで記録。費用は10USD(約1,100円)。米FreeConference.com社では、無料の電話会議サービスと有料の電話会議サービスのプランを提供している。ウェブブラウザで会議予約、通知などができる。

◆イスラエルのテレビ会議システム、電話会議システムを開発販売するVCON社は、ハイエンド製品としてルームタイプ系のテレビ会議システムHD5000やHD3000を販売しているが、そのラインアップにソフトウェアだけの「HD4000」をリリースした。最新の映像符号化方式H.264、データ会議が行えるHD DualStream、アスペクト比16:9のディスプレイ、マルチキ

キャストが行える Simulcast、QoS 制御を行う Packet Assist 技術などがサポートされており、今回のソフトウェアのみの製品である HD4000 は、役員室、教室、会議室などカスタマイズに容易に対応する。

◆VCON 社は、テレビ会議用のソフトウェア開発キット (HDDK) を発表した。ルームタイプ系のテレビ会議アプリケーションなどのアプリケーション開発が可能になる。

◆VCON 社、オーストラリアの Techontap International 社と販売提携を行い、Techontap International 社が今後豪州のマスターディストリビューターとなり VCON 社のすべての製品を豪州市場で取り扱うとともに同社の IP ネットワークに VCON のテレビ会議システムを導入した。Techontap 社は、IP-PBX や VoIP サービス、ユニファイドコミュニケーション、モビリティマネジメント、インスタントメッセージングソリューションなどを手がける。

◆IP テレビ電話などを販売する米 Viseon 社は、同社の取締役役に John O'Donnell 氏が就任した。同氏は、テレビ会議システムの周辺装置などを販売する会社 Avteq 社の社長で、その前は、ノルウェーのタンバーク社に 1998 年に買収された NuVision Technologies の創業者兼社長を務めた経験がある。NuVision 社は、ポリコムが 1997 年にテレビ会議ビジネスに参入した際に最初にリセラーとなり、その後タンバークの北米でのビジネスの立ち上げに貢献している。

イベント情報

国内

▶Live Communications Server 2003 による複数拠点ビデオ会議ソリューションセミナー

会期: 2004 年 9 月 28 日(火)

時間: 13:30~16:00(受付 13:00~13:30)

会場: マイクロソフト株式会社新宿住友ビル 14F B ブロック
マイクロソフト トレーニングルーム

主催: マイクロソフト株式会社、日本ヒューレット・パッカード株式会社、マクニカネットワークス株式会社

詳細:

<http://h50146.www5.hp.com/events/seminars/info/0409/0928lcs.html>

▶TV会議フォーラム(IPテレフォニーソリューション・フォーラム)

会期: 10 月 13(水) - 14 日(木)

場所: 目黒雅叙園

主催: 日経 BP セミナー事業センター

詳細: <http://ac.nikkeibp.co.jp/ncc/tv/>

海外

▶PUG Conference 2004

日時: 2004 年 10 月 9 日(土) - 13 日(水)

会場: Westin Innisbrook Golf Resort

主催: ポリコム・ユーザー・グループ

* ポリコムのユーザーカンファレンス & 展示

詳細: <http://www.pug.com/>

▶Vietnam 2004 IT Week & COMPUTER EXPO 2004

日時: 2003 年 10 月 14 日(木) - 19 日(火)

会場: ベトナム ハノイ Vietnam Exhibition Fair Center

主催: Vietnam Association for Information Processing (VAIP)

* ITC 関連の展示会

詳細: <http://www.goldensvc.com/itweek2004/>

CNAリポート・ジャパンサイト情報

1. 展示会レポート追加

CNAリポート・ジャパンでは下記の展示会レポートを「各種レポート」にアップしました。よろしかったらご覧ください。古いレポートですが。

<http://cnar.jp> メニューの「各種レポート」

▶MultimediaCom 99 Spring in San Jose 1999 年 3 月 9 日~3 月 11 日(HTML)

▶Polycom Seminar 米国ボストン 2001 年 10 月 11 日(HTML)

▶TeleCon 2001 米国アナハイム 2001 年 10 月 22 日~10 月 25 日(HTML)

▶IMTC Fall Forum & H.323 Forum 米国ニューヨーク 2002 年 11 月 13 日-15 日(HTML)

2. 掲示板復活

意見情報交換用の掲示板を復活させました。匿名でも結構ですのでどうぞご利用ください。

<http://cnar.jp/patio/patio.cgi>

編集後記

今回は、ウェブ会議系、サービス系の業績発表のレポートをまた、来月は海外レポートも予定しております。

広告サービスも改めて募集しておりますので是非ご検討をいただくと有り難いです。詳細は以下の URL からお願いします。

http://cnar.jp/home/CNAarchive/cna_ad.pdf

CNA リポート・ジャパン

編集長 橋本 啓介 k@cnar.jp (CNA Report Vol 6.

No.14 2004 年 9 月 15 日号終わり) 次号 Vol 6. No.15 は、2004 年 9 月 30 日頃の発行を予定しております。ありがとうございます。